



立教大学

＜地域に根差した取り組み＞

震災復興と大学の使命
—陸前高田における立教大学—

2022年9月12日(月)

立教大学総長

西原 廉太

- 1) 立教大学と陸前高田市
- 2) 東日本大震災復興支援本部の取り組み
- 3) 立教大学陸前高田サテライトの取り組み
- 4) その他の地域との連携活動

1) 立教大学と陸前高田市

- 日本聖公会による「農村伝道」の伝統
(岩手県折壁地区、山梨県清里地区 等)
- 学生部「林業体験プログラム」(2003～)
(陸前高田市矢作町生出地区)



➤ 震災前から積み上げてきた交流・繋がりの深化

全学的・組織的に展開

- 東日本大震災発生を受け、2011年4月に復興支援活動指針を策定、東日本大震災復興支援本部を設置。
- 「共に生きる」を理念に掲げ、全学的な連携・協力の下、被災地の復興支援活動を開始。
- 特に、2003年から正課外教育プログラム「林業体験」で友好関係を深めていた岩手県陸前高田市を「重点支援地域」に指定。2012年には同市と多様な分野で包括的に連携・協力する協定を締結。
- 2017年4月には同市協力のもと岩手大学と協働で交流活動拠点「陸前高田グローバルキャンパス」を開設したほか、陸前高田市をフィールドとした多様な正課・正課外教育プログラムを継続的に実施。



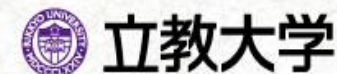
「共に生きる」 PRO DEO ET PATRIA

これまで大切にしてきた陸前高田の皆様との
出会い・対話・交流をさらに深め、「人」の活力創りを支えます。

【活動方針】

- 息長く、学生・教職員が足を運びます。
- 「陸前高田」を積極的に発信します。
- 陸前高田に根差した学習・研究に取り組みます。

戸羽市長からのお言葉(2011年)



「皆さんは、東北の人間は我慢強い、辛抱強いとおっしゃるけれども、そんなことはありません。昼間はみんな笑顔で皆さんと接しているけれども、夜一人になると泣いています。今は多くの方々に陸前高田に来ていただき、思いを寄せて励ましていただいているから頑張れるけれども、時間が経つにつれ報道も少なくなって忘れていかれると、私たちは頑張ることができなくなります。どうか立教大学には、細くてもよいので、息の長い支援をお願いします。」

戸羽 太(とば ふとし)

1965年1月2日神奈川県松田町生まれ。米国留学、東京での会社勤務ののち、父の地元である陸前高田市へ移住。陸前高田市議会議員、同助役(副市長)を経て、2011年2月6日に市長に当選。就任直後の3月11日、東日本大震災発生。市街地が壊滅した。自身も家を流され、妻が行方不明となるも、懸命に陣頭指揮にあたる。ゆるぎない信念を持って尽力する姿勢は「真のリーダー」との呼び声も高い。現在も激務をこなし、復興への困難な道を開き続けている。

「被災地の本当の話をしよう～陸前高田市長が綴るあの日とこれから～」
(ワニブックスPLUS新書) 著者紹介より抜粋。

2) 東日本大震災復興支援本部の取り組み

これまでの主な復興支援活動①

● 災害復旧支援



林業体験の立大生「恩返し」

震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市は、09年から立教大(東京調理学部)の学生の林業体験を受け入れてきた。しかし、その世話をしてきた市職員伊藤敏哉さん(50歳)が今年自身の津波で亡くなった。「お世話になった人たちに恩返ししたい」。震災後、学生はほか々と市を訪れ、ボランティアで片付け撤去などに携わる。伊藤さんらほもつひなが、その取り組まは復興へつながっていく。(市川明代、写真)

陸前高田



伊藤敏哉さん

市立立教大の交流は08年、大学側が「林業が盛んな矢作町庄地区で単位認定の対象となる課外活動の対応をほしい」と申し出て始まった。生田地区は過伐で森林の荒廃が進み、学生は地帯住民の指を受けながら、伐や草むしりなど携わ

ボランティア派遣継続 津波の犠牲に市職員指導の

ない東京の大学とつながり、1週間交代でがけきる機会、やりがいを持つ。撤去や片付けを手伝って取り組んでいたと語り返す。

伊藤さんは高校卒業後、仙台市内での就職が内定していた。しかし、船業の故郷を離れることになった父一夫さん(72)に市のために働いてほしいと勧められ、市役所に片。震災時は避難指導にあたっていたの無言であった。16日、市役所から5分ほど離れた小学校で目撃された。一夫さんは何重も聞いた。「私があなたを救わなければ」

震災後、立教大は調理学部市立立教大の調理学部生田地区に派遣したボランティアを支援した。夏休みの人がグループに分か



夏休みにボランティアに参加した学生は、震災で壊れた生田地区の炭焼き窯の解体作業も手伝った

- 市災害ボランティアセンターを通じた災害支援活動
- 2011年度は6期(4泊5日)開催
- 2012年度以降も毎年開催
- 職員ボランティアも実施

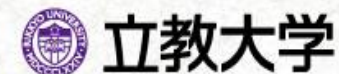
これまでの主な復興支援活動②

- 学習支援
- 図書館再生支援
- 農業・漁業の作業手伝い
- 陸前高田スタディツアー



3) 立教大学陸前高田サテライトの取り組み

陸前高田グローバルキャンパス開設



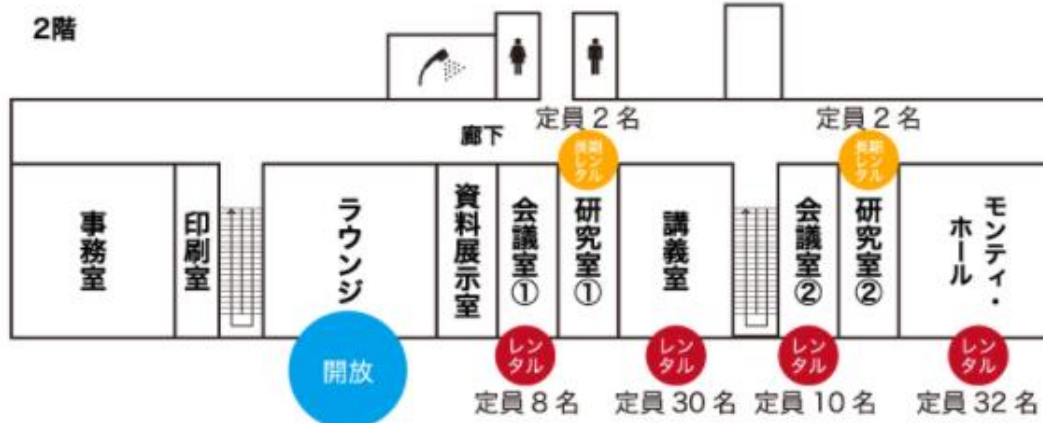
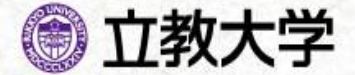
岩手大学・立教大学 共同運営 交流活動拠点



出典：『東海新報』web版、2017年4月26日

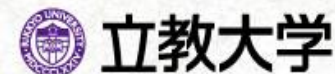


陸前高田グローバルキャンパス レンタルスペース



詳しくは陸前高田グローバルキャンパスウェブサイトへ
(<https://rtgc.jp/>)

実施事業・プログラム



立教大学陸前高田サテライト

学生・教職員が市民の皆さんと共に考え、行動しつつ、学びます

- ☆ 陸前高田プロジェクト(グローバル教育センター)
- ☆ 中学生イングリッシュ・キャンプ(異文化コミュニケーション学部)
- ☆ SDGsフィールドワーク&グローバル(文学部)
- ☆ 職員研修(新卒2年目対象) など

先端研究に取り組み、防災・災害の専門的研修機会を創ります。

- ☆ 陸前高田市資料アーカイブ化を活用した防災・減災研修(予定)

市民の皆さんが心豊かに人生を楽しむための学びの機会を創ります

- ☆ 立教たかたコミュニティ大学(2017年度3回, 2018年度4回, 2019年度2回)
- ☆ 立教野球教室
- ☆ 立教バレーボール教室
- ☆ 学生団体の活動(落語研究会、復興支援サークル・クリスマス会等)

陸前高田グローバルキャンパス(岩手大学との共同事業)

防災・減災をどこよりも深く学べるまち

- ☆ 陸前高田市資料アーカイブ化を活用した防災・減災研修

大学生が絶え間なく訪れる交流のまち

- ☆ 「陸前高田イタルトコロ大学事業」、「春呼び祭」など

学生・教職員が市民の皆さんと共に考え、行動しつつ、学ぶ

サテライト協力



■ 関連プログラム(正課プログラム)

全学共通科目総合系科目/全学共通カリキュラム総合自由科目

2019年度
陸前高田プロジェクト
募集要項



東日本大震災被災地の「今」を知り、復興における課題に向き合うプログラム

実施スケジュール

- 事前研修 7月27日, 8月22日, 9月3・4日 @ 池袋キャンパス(9/3~海外大学生のみ)
- 現地研修 9月5日~9日 @ 若手講師陸前高田市
- 事後研修 9月10~11日 @ 池袋キャンパス

海外大学生との協働プログラム

- スタンフォード大生7名
- 香港大生2名
- シンガポール国立大生2名
- 立教大生7~10名

基本使用言語: 英語

応募締切
2019年6月13日 17:00

このプログラムは、株式会社ソーベックシステムズコンサルティングおよび株式会社大塚商会様より協賛費用をいただき運営しています。

立教大学 グローバル教育センター
〒112-8601 東京都文京区本郷4-1-8
Tel: 03-3986-4613
http://global.ryukyoku.ac.jp

英語の世界に飛び込んで
中学生対象に 立教大と市教委が企画
陸前高田



英語で出題されるクイズ(にグループで相談する生徒たち
(電子新聞に登場、写真奥列より))

「英語の世界に飛び込んで」は、立教大学と陸前高田市教育委員会が共同で企画した、中学生を対象とした英語学習プログラム。このプログラムは、立教大学の英語教育センターが主催し、陸前高田市教育委員会が協賛している。プログラムの内容は、英語の基礎知識を学ぶだけでなく、実際の英語でコミュニケーションをとることに重点を置いている。また、プログラムの最後には、陸前高田市の被災地を視察し、復興の現状を知る機会がある。

「駆け込める場所を確保
11番の家」

「11番の家」は、震災で壊れた家を取り戻すための取り組み。この取り組みは、立教大学の学生がボランティアとして参加している。学生たちは、被災地の現状を調査し、復興のための提案を出している。また、被災地の子どもたちと交流し、励ましを伝えている。



- 【継続中】陸前高田プロジェクト(グローバル教育センター)
- 【継続中】中学生イングリッシュ・キャンプ(異文化コミュニケーション学部)
- 【継続中】SDGsフィールドワーク&グローバル(文学部)
- 【終了】RSL-プロジェクト・プランニング(立教RSLセンター)
- 【終了】ICT教育の実践によるコミュニティ支援(社会学部)

学生・教職員が市民
の皆さんと共に考え、
行動しつつ、学ぶ

サテライト主催



立教大学

立教大学職員研修「陸前高田に赴く」



市民の皆さんが心豊かに人生を楽しむための学びの機会を創る

学生・教職員が市民の皆さんと共に考え、行動しつつ、学ぶ



立教大学

【中学生対象】立教野球教室（2012.7～）

サテライト主催



【小学生対象】 立教バレーボール教室 （2013.8～）



市民の皆さんが心豊かに人生を楽しむための学びの機会を創る

陸前高田サテライト主催 市民向け講座
立教たかたコミュニティ大学
(2017年度) サテライト主催



立教大学

第1回「戸口純と仲間たち たかたの夢ピアノ・コンサート」(2017/11/18)



第2回「宮沢賢治で社会学しよう！」 (2017/12/16)



第3回 シンポジウム「高田から世界を考える ～難民の世紀に生きる私たち～」 (2018/1/21)

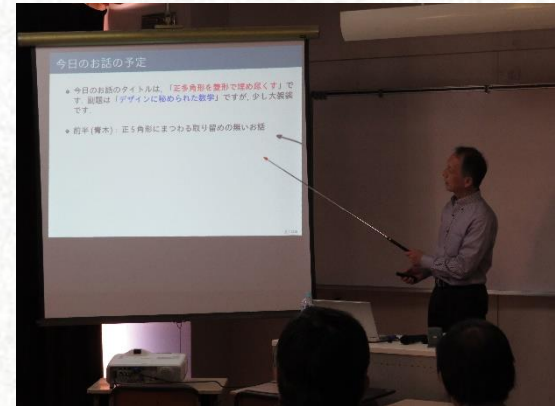
市民の皆さんが心豊かに人生を楽しむための学びの機会を創る

陸前高田サテライト主催 市民向け講座
立教たかたコミュニティ大学
(2018年度) サテライト主催



立教大学

第1回「記憶の継承について考えるー 原爆体験の継承の現場から」(2018/07/29)



第2回「正多角形を菱形で埋め尽くす！」 (2018/11/4)

第3回「パラスポーツ ゴールボール体験 音の世界を体験してみよう」(2018/12/16)



第4回「新しいモノサシSDGsで世界、地域を 考えよう」(2019/2/23)

市民の皆さんが心豊かに人生を楽しむための学びの機会を創る

陸前高田サテライト主催 市民向け講座
立教たかたコミュニティ大学
(2019年度) サテライト主催



立教大学

第1回「LED『ペットボトル®』でイルミネーションを作ろう！」
(2019/09/07)
※SDGs関連科目



第2回は、いわてFC(いわきスポーツクラブ)代表取締役・大倉智氏によるスポーツを通じたひとづくり・まちづくりをテーマとした講演を予定！(2019/12/14)

大学生が絶え間なく訪れる交流のまち

陸前高田市民・組織・団体のみなさまへ

「陸前高田イタルトコロ大学」にニーズをお寄せください!

「ボランティア」や「支援」ではない
新たな関係づくりに向けて

陸前高田が全国イタルトコロにひろがっていくように

全国イタルトコロの大学が陸前高田につながるように

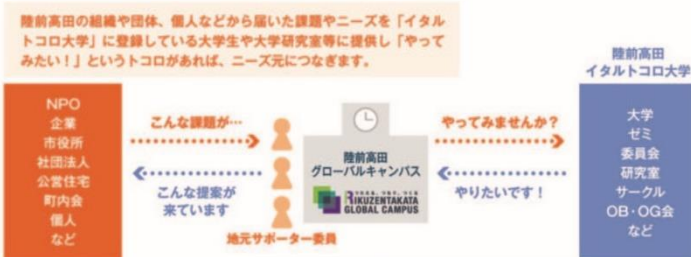
大学の研究室や大学生たちいっしょに〇〇について考えてみない?

うちの団体の企画・運営にたずさわってみたい大学生はいないだろうか?

陸前高田の市民の人たちとこんなイベントをしてみたい!

私達にできるまちづくりのお手伝いはあるだろうか…?

「陸前高田イタルトコロ大学」事業では地元のニーズ・シーズと大学生の「やりたい!」気持ちのマッチングを目指します。

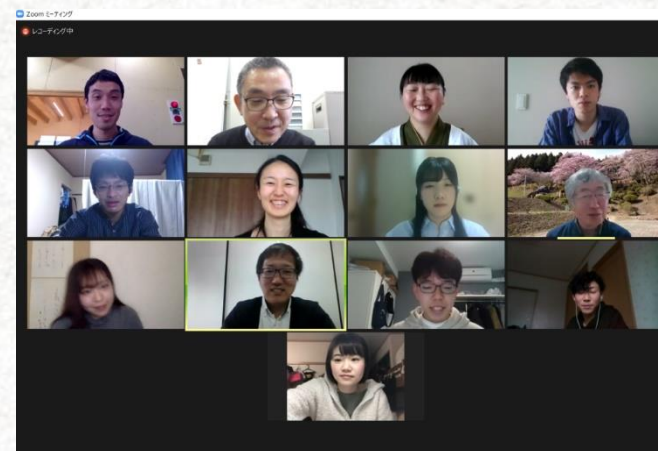


大学側からの「やりたい!」という提案を、関心のありそうな団体などに持ちかけ、見つかった場合につながります。

大学生と繋がりたい陸前高田市民の方はこちらからニーズをお寄せください



内容的に受け付けることができないご要望等もございます。要望等をおよせいただく際は、右のガイドラインをよくお読みください。

大学生が絶え間なく訪れる交流のまち

市民と大学とで気仙に春を呼び込みましょう!!

春呼び祭

2019. 3.16日17日

会場 陸前高田グローバルキャンパス 一部「朝日のある家」

全国の大学生、大学関係者が集い、市民とともに作り上げる

実施プログラム例

<p>古舘伊知郎 トークライブ</p>	<p>アロ純と仲間たち たがたの夢ピアノコンサート2 guest 菅野陽子</p>	<p>リクヰック&アロ純&市内中学生 「はるうたセッション」</p>
<p>中高大生ジャムセッション2019</p> <p>「未来へのエレベーター 10年後20年後の私 ～フォトジャーナリスト 安田菜津紀さんを迎えて～」</p>	<p>防災展るワークショップ</p> <p>「災害後、 決断しなければならぬこと ～体験者の声に学ぶ～」</p> <p>岩手大学地域防災研究センター& 陸前高田市 (釘子明さん、佐々木純代子さん、佐藤一真さん)</p>	<p>岩手大学 OB/OG 美術展</p> <p>菅野陽子さん 佐々木志穂さん 佐藤一真さん 佐藤太郎さん 三浦千夏さん</p>

立教大学よさこいで「よさこいで笑顔と元気を!」

駐 車 場

春呼び祭

陸前高田グローバルキャンパス

16日(土)	17日(日)
10:00 オープニング・セレモニー 体育館ステージ	10:00～11:30 古舘伊知郎トークライブ 体育館ステージ
10:30～12:00 横断機呼「アリス式の身代わり」(主催:岩手大学C・C大楽団 他楽団) 館内	10:00～15:00 春物を着よう(主催:小岩重子さんの声援) 館内
11:00～12:30 アロ純と仲間たちたがたの夢ピアノコンサート2 朝日のある家	11:30～13:00 横断機呼「アリス式の身代わり」(主催:岩手大学C・C大楽団 他楽団) 館内
12:00～13:00 春を呼ぼう!ふくわらし音楽隊(公発:立教大学経済研究会) 館内	11:45～13:00 春を呼ぼう!ふくわらし音楽隊(公発:立教大学経済研究会) 館内
12:00～13:00 音楽に行きたい君たちへ(主催:岩手大学経済学・会計学研究会) 館内	11:45～13:00 「体真純と楽し歌おう!～フランドル編曲文庫展も開催中～」 体育館ステージ
12:15～13:45 SAVE TAKATA&若狭人の家 活動報告会 館内	13:00～15:00 防災展るワークショップ
13:00～14:00 はるうたセッション (出演:リクヰック、アロ純さん、市内中学生、会場のみなさん) 体育館ステージ	13:15～13:40 YUIさん ピアノ&バイオリン ライブステージ 体育館ステージ
14:00～16:00 中高大生ジャムセッション2019 「未来へのエレベーター 10年後20年後の私 ～フォトジャーナリスト安田菜津紀さんを迎えて～」 (参加:中高生、大学生、安田菜津紀さんほか) 館内	13:40～14:05 ベイ・ベシタルライブ(出演:上/宮 益壽やん&レボプロジェクト) 体育館ステージ
15:00～16:30 方言習字研究 「100年前に書かれた書体で現代のものを作ってみましたか」 (主催:ねばり丸スクールのアート&コミュニケーションズ) 館内	14:15～15:10 春～ライブ17日ステージ!陸前高田～スペシャルゲストご登場～ (出演:岩手スユニット、タカカミセント、SO.ON project等) 体育館ステージ
16:15～16:45 陸前高田市内中学生によるソングライブ! 体育館ステージ	15:15～15:40 春呼び祭クロージング!陸前高田の松の木 (出演:アップルガールズのみなさん) 体育館ステージ
16:45～17:15 よさこいで笑顔と元気を! (公発:立教大学よさこいで) 体育館ステージ	

常設企画 館内

16日(土)9:30～17:00/17日(日)10:00～14:30

交遊写真展「大学生が見た陸前高田」
(主催:立教大学Frontiers & Three-S)

岩手大学OB/OG美術展
(横断機呼さん、佐々木志穂さん、佐藤一真さん、菅野陽子さん、三浦千夏さん他様)

陸前高田アートクラブ(あすなろチーム、りあんのか、岩手大関係者のアート活動)作品展

「失われた歯」模型展示(主催:SAVE TAKATA)

安田菜津紀さん写真展
「この間で、これからも～陸前高田はここ～」

陸前高田の記憶をシェア「しえたが」展
(主催:SAVE code)

こども工作教室
～海のめぐみで飾ろう、じぶんだけの8羽鯨作り～
(主催:岩手大学二階役員サポーター学生委員会)

出逢ったかたあそび
「道まよ/宮道99のあそびプロジェクト」対抗4校対決

飲食物販特設ブース

16日(土)11:00～15:30/17日(日)10:30～14:30

青山学院大学特設二五二階
(青山学院大学ボランティアセンター Route)

あすなろチーム贈答おかし(あすなろチーム)@16日(土)

復興応援!岩手県沿岸地帯の商品販売
(岩手県立大学 復興@riskoyota)

〈まね水産さばばば(岩手県)code〉

大賀田家のかさ(大田町)さん

農産物販売所 陸前高田 愛菜園(岩手大学)

陸前高田の銘名物のお披露目!
(協力:支那の地産研究会、八木商店) 注

当日、まちなかからの送迎車両を運行します!

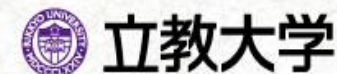
9:30 9:50 10:00 10:30 10:45 11:00 11:30 11:45 12:00 12:15 12:30 12:45 13:00 13:15 13:30 13:45 14:00 14:15 14:30 14:45 15:00 15:15 15:30

9:30 10:00 10:30 11:00 11:30 12:00 12:30 13:00 13:30 14:00 14:30

陸前高田グローバルキャンパス春呼び祭2019

お問い合わせ先 陸前高田グローバルキャンパス実行委員会 horayob@rtc.jp 陸前高田グローバルキャンパス事務局 電話:0192-47-3901

立教生への援助金制度



【陸前高田サテライト利用に係る交通費及び宿泊費援助】

本学学生が陸前高田サテライトを積極的に利用できるよう、一定の条件を満たした場合に、交通費・宿泊費の一部を経済的に援助することを目的として、2017年6月に導入。

＜支給実績＞ 11,912,885円(延べ476名) ※2022年2月4日時点

年度	支給額	支給人数
2017	2,872,920円	138人
2018	4,114,270円	177人
2019	46,011,615円	147人
2020	—	—
2021	324,080円	14人
合計	11,912,885円	476人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年2月～2021年10月17日及び2022年1月21日～同6月1日まで支給停止。

4) その他の地域との連携活動

その他の地域連携

◆豊島区

https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/social_engagement/toshima.html

◆埼玉県

https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/social_engagement/mknpps000001c5ay-att/social_engagement_19.pdf

◆立教サービスラーニング(RSL)を通じた連携

https://www.rikkyo.ac.jp/education/system/qo9edr0000005a5k-att/RSL_Guide_Book_2022.pdf



立教大学

The founding spirit of Rikkyo University is steeped in Christian values of providing a liberal education that nurtures every aspect of the individual. These values continue to be our guiding principle.